

少しずつ確実に成長することの大切さ

使用者委員 中村博之

先日、塚越寛さんの講演を聞く機会がありました。塚越さんは、伊那食品工業の会長として、「年輪経営」を実践されている経営者です。木が年輪を重ねるように、少しずつそして確実に会社を成長させることの大切さを講演で話されました。

そのためには、「無理な成長は追わない」「人の犠牲の上に立った利益は、利益ではない」が必要と説き、一方で「凡事継続」のためには、常に改革を心がけることの大切さにも触れられました。

私の会社では、3年前から、社員のオフサイトミーティング（社外の施設を利用した勉強会）を、月1回、丸1日かけて行っています。

この研修では、一人一人が自ら考え行動する力を身につけることを目的としてあげています。一方で、会社のあるべき姿を共有し、それを達成するために、お互いの意見を出し合い、考え方を共有することの大切さも学んでいます。

その中で、お互いの良さを知り、お互いを認め合うこと、そして切磋琢磨して参加者が一歩ずつ成長していくことを目指しています。

働く人の一人一人が成長することはとても大切なことです。その過程で幸せを感じることができたら、会社も継続して成長することができると思います。

塚越さんの「遠きをはかり」ゆっくり成長することの大切さの中には、一緒に働く人全員がお互いを信頼し感謝しあえるあるべき姿を目指すことがあります。私自身も、少しずつではありますが成長していきたいと思っています。